

道徳ものがたり（続）

古い資料をたどっていくと、名古屋市南区の「道徳」という土地への関心がますます高まった。猛暑のなかを再訪した。やはり現地に行ってみないと分からないことが多い。

道徳公園のなかに、学区連絡協議会による案内板があった。開園当時の写真とともに、「公園内の月見池（当時は黎明池）やクジラ池のクジラは開園当時からあります」と記されている。なぜクジラか。ここは干拓前は海だったのだ。写真を撮ろうとすると、自転車に乗った女の子が来て、近くにある蛇口をひねった。するとクジラから勢いよく水が上がり、思わず「ありがとう」と言った。



道徳公園から観音町に向かった。先日のレポートで京枝屋酒店の伊藤忠夫さんの話を紹介した。伊藤さんにお会いできるかと思い、酒店を訪ねてみた。伊藤さんの息子さんと話



ができた。酒店を写真右にまっすぐ行くと、観音山があったという。この道を「観音中道」というそうで、観音さんの参拝や観音山に遊びに行く人で賑わったという。

観音中道を行くと、自転車さんがあった。ここに1964年まで、観音山があった。突きあたりを曲がって細い道を行くと、観音公園に着いた。「昭和初期に、ここから見た風景」という南区役所の案内があった。「名古屋名所道徳観音山及び泉楽園温泉全景 昭和7年 吉田初三郎画」から、観音山の南に広がる一大温泉街が展望できる。名古屋でも有数の歓楽街であったことが分かる。それと「昭和7年 道徳観音滝とプール」の写真も、子どもたちで賑わう風景をよく示している。



観音山にあった観音像がまつられている東昌寺に行った。境内の正面に観音様がでんと構えている。観音様は写真で見たイメージとは違っていたが、これには「わけ」があるようだ。観音様はもう一体、千種区の平和公園にも安置されているという。

京枝屋酒店さんに話を戻そう。じつは、ここは瑞穂区下坂町の行きつけの酒屋さんに関係がある。90歳のおばあさんは、若い頃にこの近くにあった酒屋さんで過ごした。戦争中の焼夷弾、消火訓練などの話を聞いた。伊勢湾台風の時も、ここで災害を体験したという。南を流れる山崎川が決壊して、このあたりは数メートルも浸水し、なかなか水が引かなかったという。道徳は伊勢湾台風で大きな被害にあった土地でもある。

(2016年9月2日)